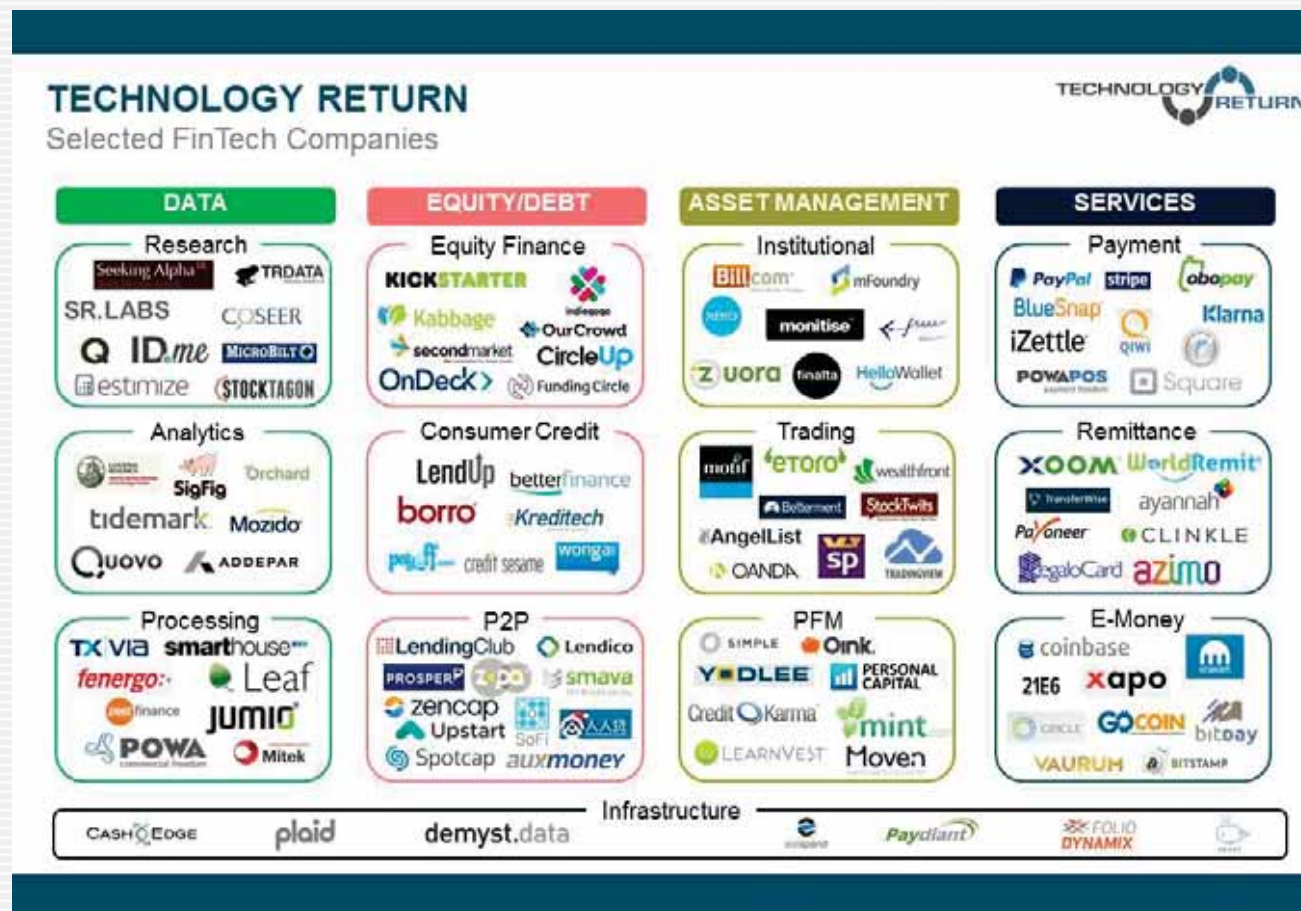


不動産テックの国内外事例



金融×テックによる変革(参考)

フィンテックによる新産業の創出

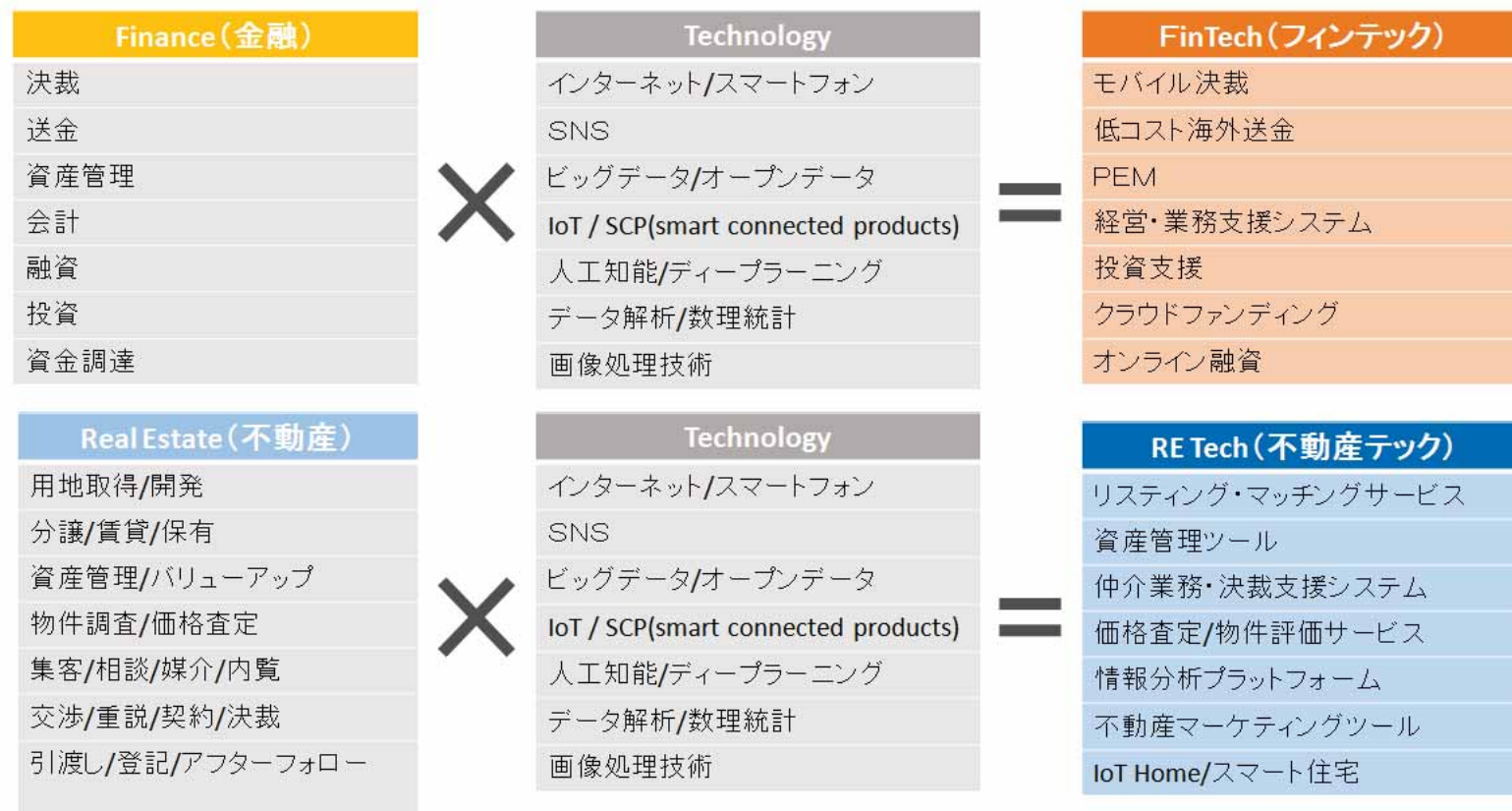


Technology Return Webサイトより抜粋



不動産×テックによる変革

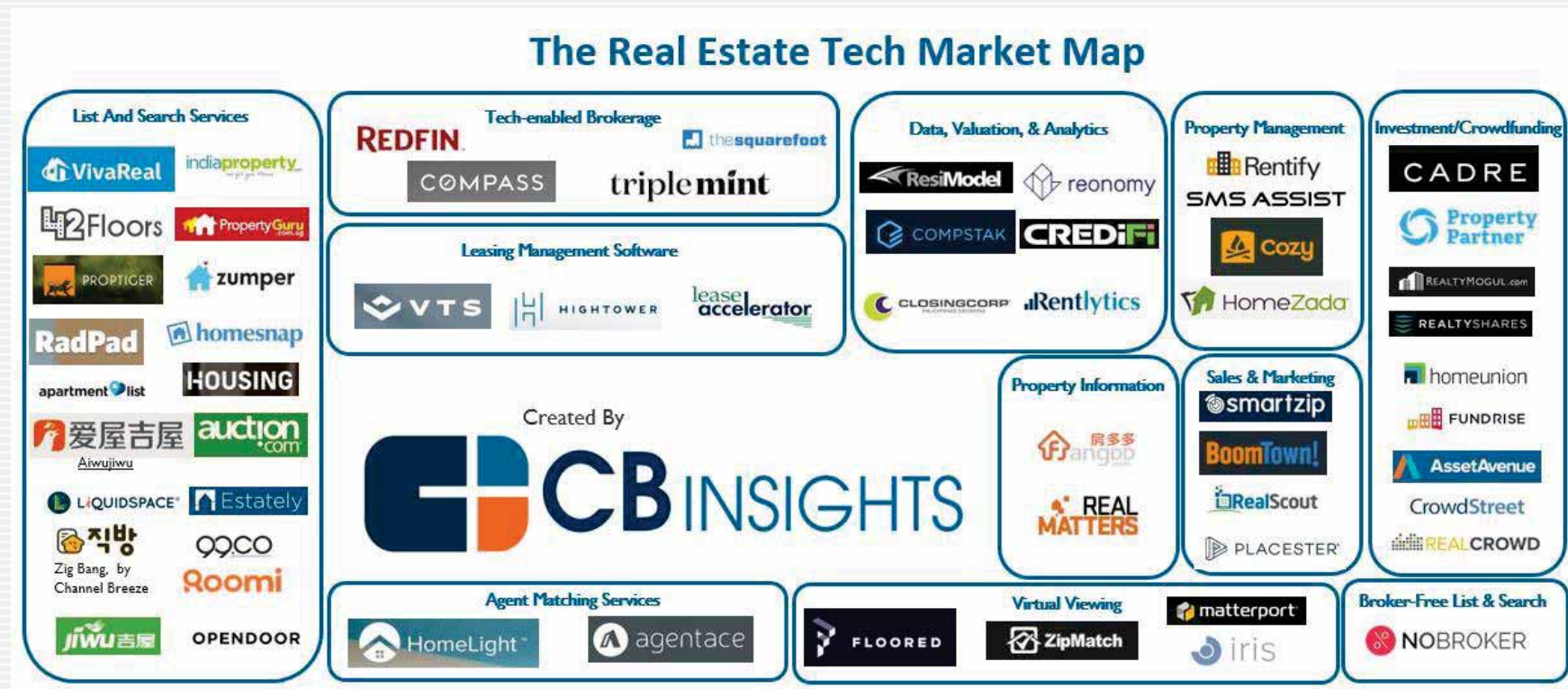
不動産業界における不動産テックの成長



野村総合研究所 谷山智彦氏「不動産テックの最新動向とビジネスモデル」をもとに作成

不動産×テックによる変革(参考)

不動産テックによる新産業の創出



CB INSIGHTS Webサイトより抜粋

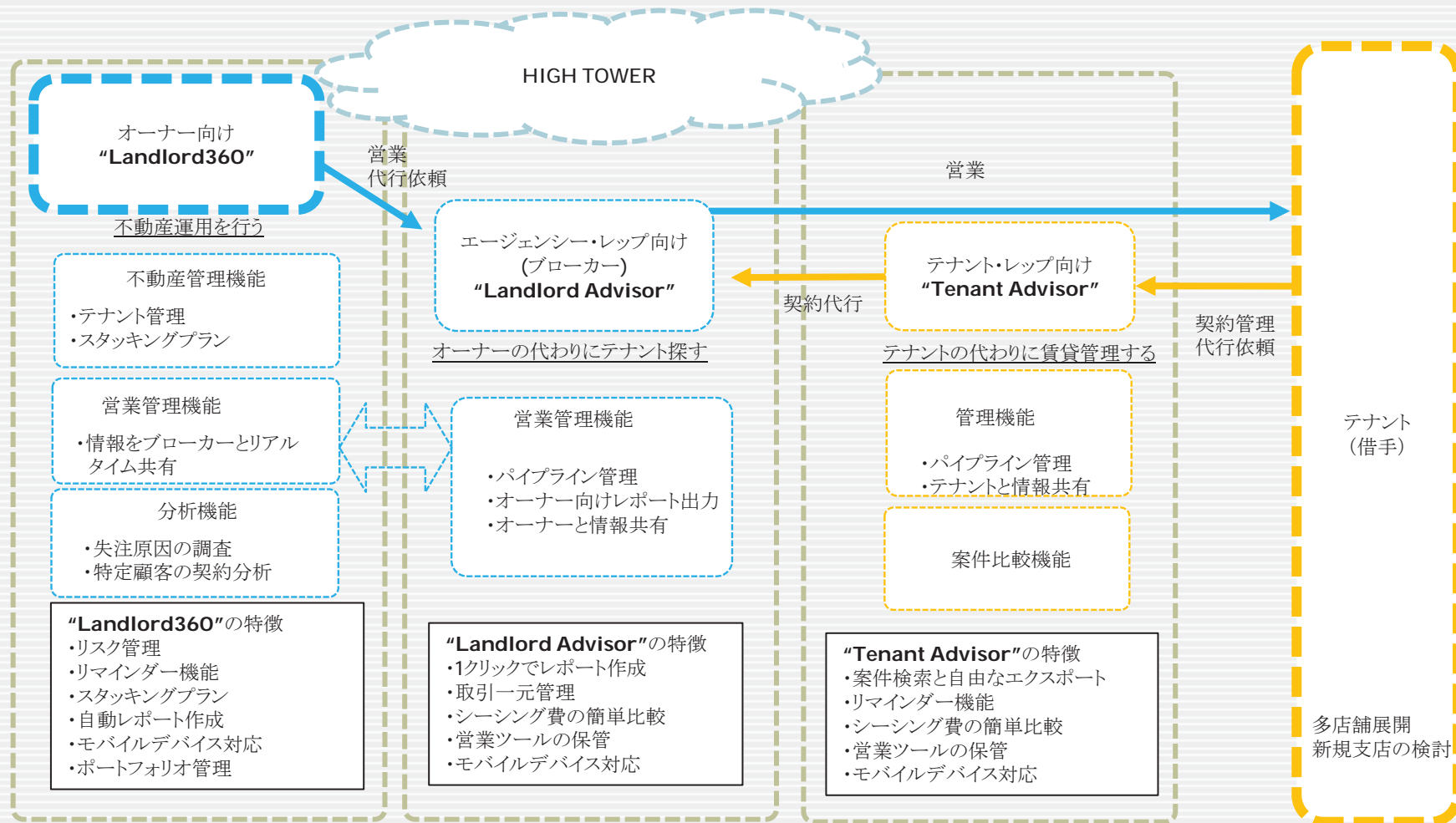


不動産×テックによる変革

不動産業界における不動産テックの成長

事業モデル	① マッチング・プラットフォーム運営	② ビッグデータ活用	③ 業務効率化サービス
	不動産に関連するプレイヤーをプラットフォーム上でマッチングさせることで収益を得る事業モデル	不動産に関する情報を集約化・加工分析・価値化させ、それを顧客に提供することで収益を得る事業モデル	不動産に関連する業務を、ITを活用することで効率化させ、それを顧客に提供することで収益を得る事業モデル
代表企業	<ul style="list-style-type: none">▪ Zillow▪ FUNDRISE▪ MOVOTO▪ trulia▪ REDFIN	<ul style="list-style-type: none">▪ smartzip▪ MRIS homes▪ CoreLogic▪ REONOMY▪ KWELIA	<ul style="list-style-type: none">▪ Hightower▪ VTS▪ VisualLease▪ DOOR STEPS▪ @property

海外 不動産テック事例 ③業務効率系 Hightower の例

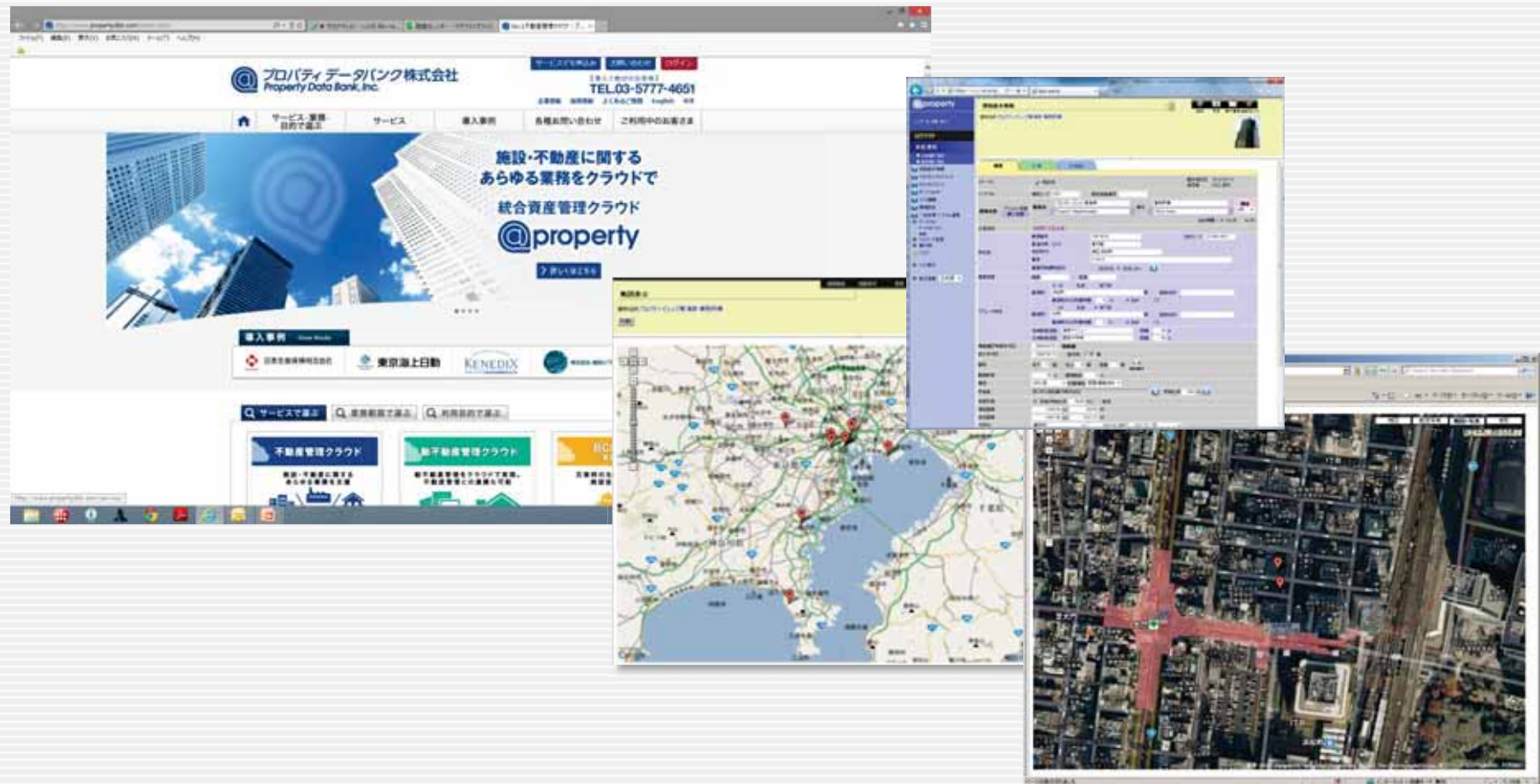


Hightower社ポータルサイトより引用

国内 不動産テック事例

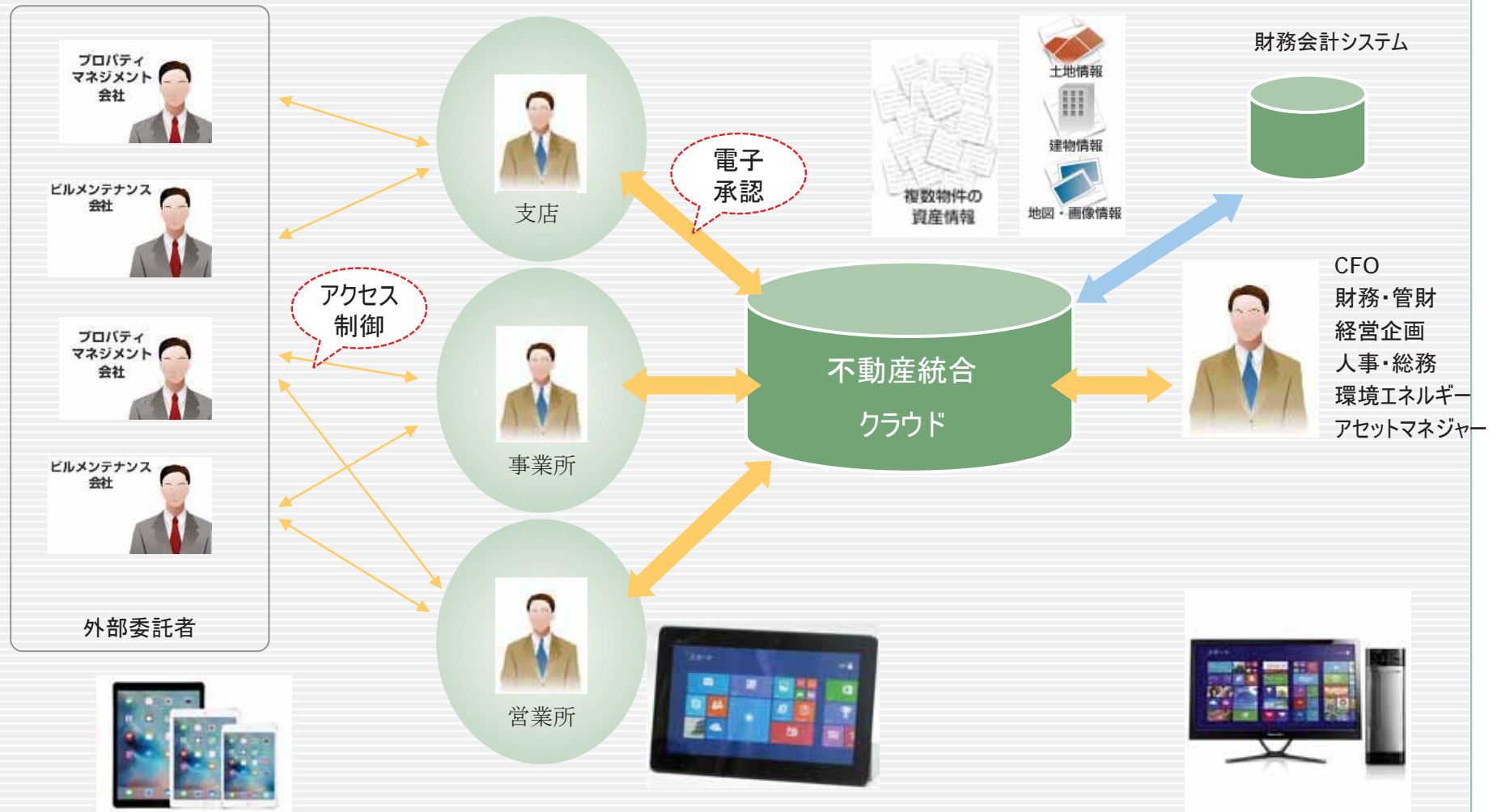
③業務効率系

プロパティデータバンク株式会社は不動産管理クラウドサービス「@プロパティ」をオーナー向け、アセットマネージャー向け、管理会社向け、プロパティマネージャー向け、ファシリティマネージャー向けに提供。全国800社15万棟の不動産管理業務効率化を支援。

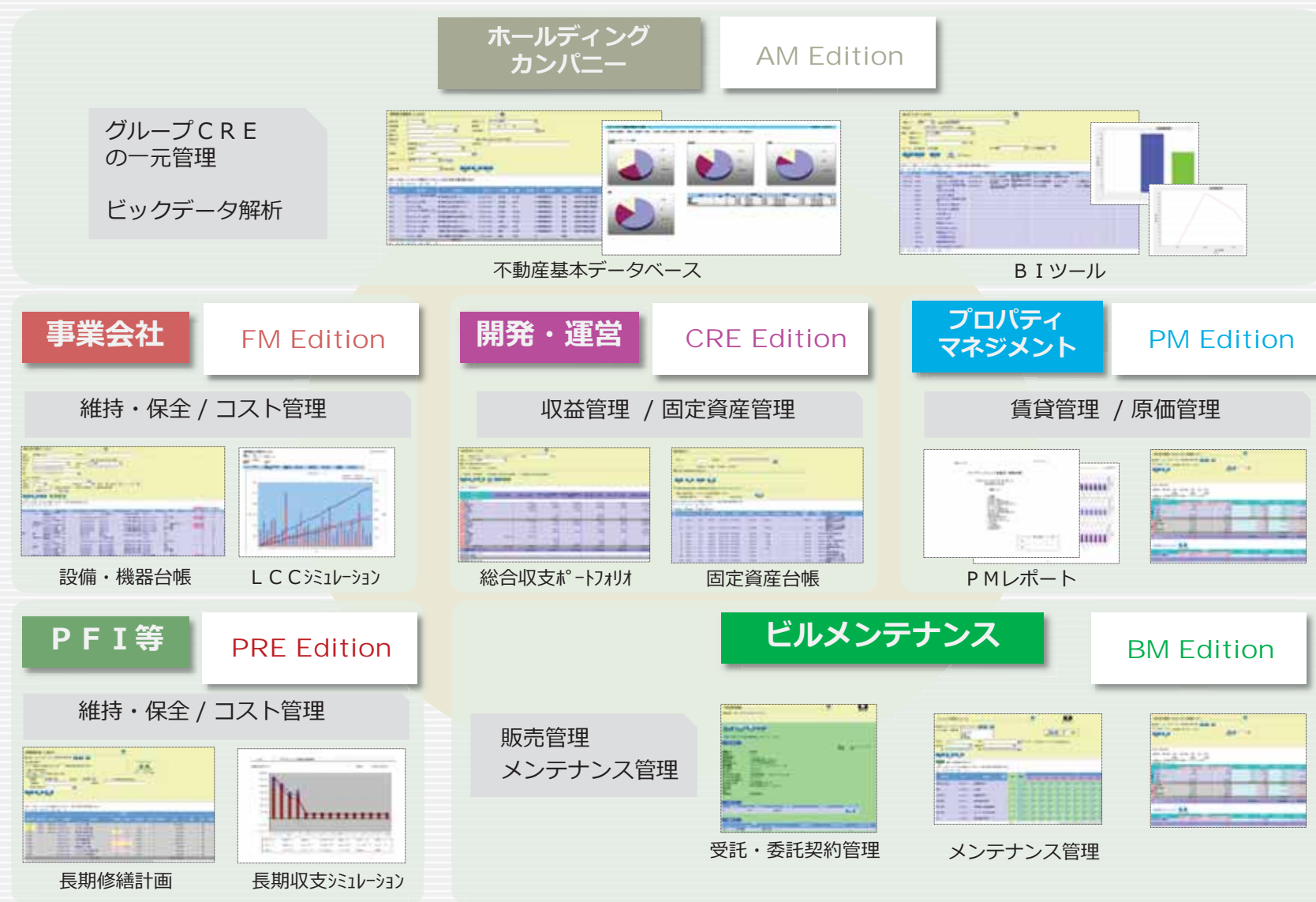


③業務効率系 不動産管理クラウド@プロパティ

クラウド環境、アクセス制御、ワークフロー機能により、本支店間及び外部委託者（PM）との業務がシームレスに連携され、業務効率が飛躍的に高まります。



③業務効率系 不動産管理クラウド@プロパティ



③業務効率系 不動産管理クラウドによるデータサイエンス

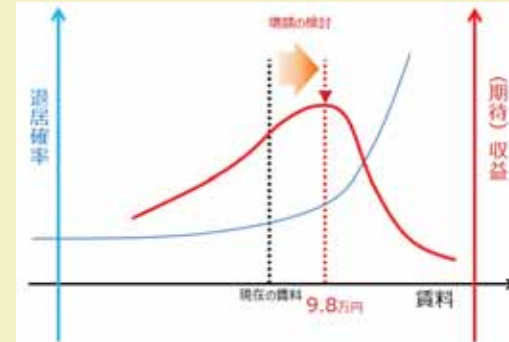
@property



データサイエンス
分析

@プロパティが
データセンターで管理する不動産データ

- 契約データ
- 修繕記録データ
- 建物データ
- 収支データ
- クレーム処理データ など



更に有効活用できるデータ

- 退去確率の予測
- 適正賃料の算出
- 空室期間の予測
- 改修効果の予測
- 各施策の効果検証 など



まとめ

日本の不動産全体の動向

- 不動産の長寿命化やストック活用は日本の不動産全体の課題である
- インフラ・公的不動産では官民連係など大胆な取り組みが進展している
- 証券化不動産は多様化し、あらゆる産業を支えている

不動産テックの潮流

- 業界全体でのデータの活用や公開が進展し情報の非対称性が軽減する
- 不動産テックは新たなビジネスモデルや産業を創生する
- 経営改革は個社ではなく企業間あるいは業界全体で進展する

IoTとの連携



経営改革・業務効率



ビッグデータ・AI

